



大
切
ナ
モ
ノ

公演日

5月5日昼

出演者

石川由依<ヨルハ二号B型(2B)>

花江夏樹<ヨルハ九号S型(9S)>

安元洋貴<ポッド042>



ポッド042
(ナレーション、以下：ナ)

全ての存在は滅びるようにデザインされている。

生と死を繰り返す螺旋に……

ポッド042 (ナ)

『彼等』は囚われ続けている。

ポッド042 (ナ)

これは、呪いか。

ポッド042 (ナ)

それとも、罰か。

ポッド042 (ナ)

不可解なパズルを渡した神に、

ポッド042 (ナ)

いつか、『彼等』は弓を引くのだろうか？

2B (ナ)

……私が「その時の」彼と会ったのは、
機械生命体の超大型兵器破壊の任務の時だった。

9S

2Bさんですね？

9S

僕は9Sです。貴方のサポートをするように命令を受けています。

2B (ナ)

2B (ナ)

2B (ナ)

2B (ナ)

九号S型モデルは高機能だったが、
機密情報に触れる可能性がある危険な個体でもあった。
処刑の役割を任せられている私は、過去に彼を殺していた。
何度も、何度も。

だけど、その時の彼は……少しだけ違っていた。

9S

9S

僕達スキャナータイプは、単独での現地の事前調査が主です。

だから、誰かと一緒に行動出来るって、楽しいんです。

2B (ナ)

2B (ナ)

2B (ナ)

私は彼の言葉から目を背けた。

繋がってしまうと、殺すのが辛くなるから。

だけど、彼はいつも私に話しかけた。

◎9S。明るい調子で。

ねえ、2B。

この白い花、2Bの髪に飾るとよく似合うと思うんですね？

2B

必要ない。

9S

そうかなあ？

2B

髪に植物を付着させる事は戦闘行為に不必要。
むしろメンテナンス不良の原因になる。

9S

あはは。2Bは真面目ですね。

2B (ナ)

私は、過去の9Sと、ある約束をしていた。

2B (ナ)

必ず、彼を殺す、という約束を。

2B (ナ)

あの時の9Sと、目の前にいる9Sは異なる個体だ。

2B (ナ)

その事実が、私の心を締め付ける。

ポッド042

ポッド042からヨルハ機体2B。

ポッド042

報告：2Bのメモリ空間内のエラーを検知。

ポッド042

不安定な心理状態に起因。

ポッド042

推奨：適度な休息と、心理状態の改善。

2B (ナ)

そんな事はとうの昔に知っている。

2B (ナ)

だが、この苦しみから開放される時は、私が死ぬ時だ。

ポッド042

司令部からのメールを受信。

2B (ナ)

私は畏れているのだろうか。

2B (ナ)

私は間違っているのだろうか。

2B (ナ)

この感情の呼び名も知らないまま、私は彼との旅を続けていた……



9 S (ナ)

僕が2Bと出会ったのはバンカーの廊下だった。

9 S (ナ)

今度パートナーになる件については、
司令官から内示を受けていたけど……

9 S (ナ)

少し僕は不安だった。

9 S (ナ)

スキャナーモデルである僕達は、単独行動が多かったし、それに……

9 S (ナ)

2号モデルは、どことなく冷たい印象がある気がして。

9 S (ナ)

だから、初めてバンカーの廊下で会った時の彼女に言われた事に、
少し、びっくりした。

2 B

9 S。

9 S

……はい。

2 B

◎しほひく問。

ありがとう。

2 B

最後に私達のデータを基地にアップロードしてくれて。

9 S

……ごめんなさい。その記憶を僕は持っていません。

9 S

あの地域は通信帯域が細かったですから……

9 S

多分、貴女のデータをバックアップする時間しか確保出来なかったんでしょう。

9 S

僕の記憶は、貴女と合流する直前までしか残っていません。

2 B

……そう。

9 S (ナ)

……そんな、ぎこちない出会いから、しばらく経過したある日。

9 S (ナ)

ある戦闘の後で、その事件は起きたんだ。

ポッド042

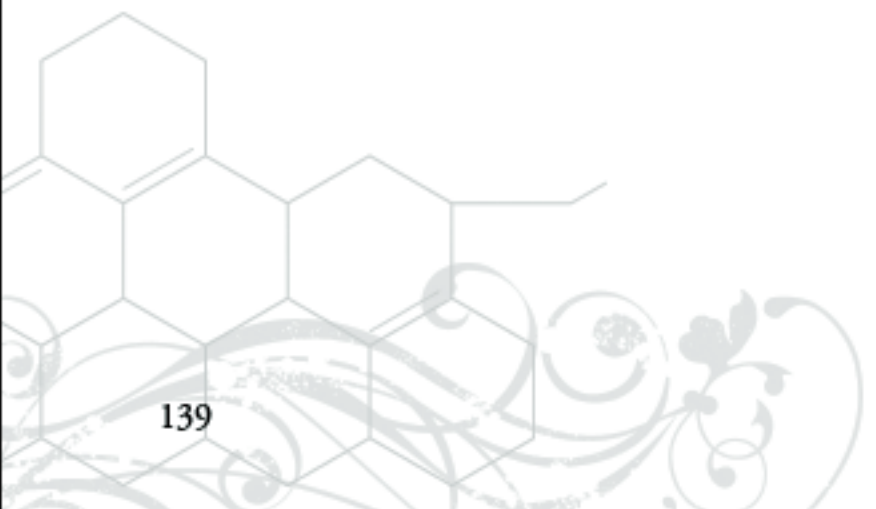
全ての機械生命体の撃破を確認。

9 S

ふうっ……

2 B

これで……この区域の機械生命体は全滅させた？



ポッド042

肯定：周辺に敵性機械生命体の反応無し。

2B

了解。

◎9S、何かに気づく。

9S

……って、あれ？ 2B……右手、どうしたんですか？

2B

右手……？ ああ、これ。さっきの戦闘で指を負傷したみたい。

9S

うわっ、血、血が出てますよ！

◎慌てる9S。

9S

ポッド！ 止血ジェルと、論理ウィルスワクチンと！ ええっと……

ポッド042

非推奨…過剰な治療行為は、
機体の運動効率の低下を招く危険性が高く……

9S

うるさいよ！ いいから出して！

2B

……9S。大袈裟すぎ。

9S

ええっ、2Bまで……

2B

こんなの放っておけば、ナノマシンが修復してくれる。

9S

そう、ですけど……

◎9S、少し残念そう。

ポッド042

敵殲滅によって任務達成を確認。

ポッド042

推奨：司令部への報告。

9S

◎9S、少し覗き込むように。

あの……2B。

2B

何？

9S

止血ジェルだけでも、つけておきませんか？

9S

血液系に汚染物質が入ると除去が難しくなりますし、それに、止血ジェルだったら運動機能への影響もほとんどないですし、万が一、って事もありますし……

2B

◎2B、少し呆れながら。

……わかった。

わかりました！ 今、準備しますから！
えっと、止血ジェルのケースは……

9S

2B

9S。

9S

はい？

2B

◎少し、間が空いて。

……ありがとう。

◎2B、少し嬉しそうに。

9S (ナ)

その言葉を聞いた僕が、どんな返事をしたのか、もう憶えてない。

9S (ナ)

ただ、誰かの役に立てる事が嬉しかった事だけが、心に残っている。

9S (ナ)

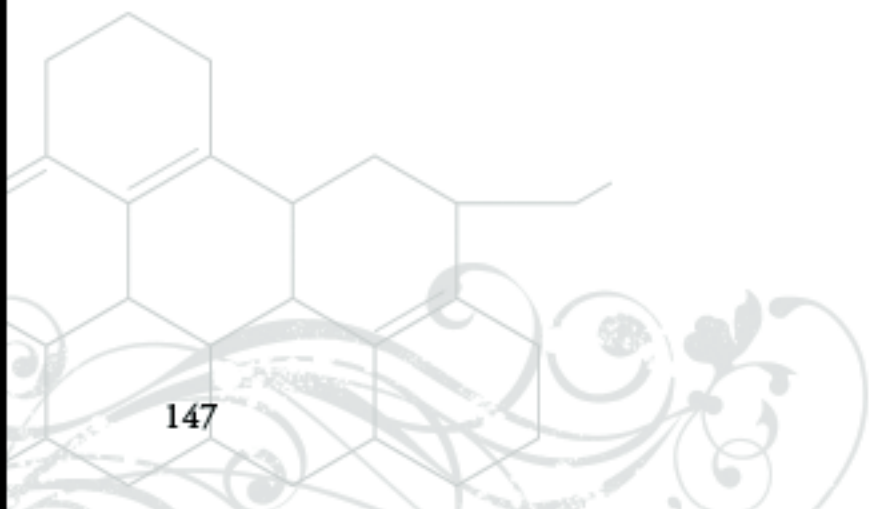
2Bと一緒に、いられる事が、一番大事だったんだ……

95(ナ)

……そう。

95(ナ)

ヨルハ部隊の基地、バンカーが落ちる、あの日までは。



ポッド042 (ナ)

大規模攻撃が失敗に終わり、バンカーは陥落。

ポッド042 (ナ)

ウイルスに汚染されたヨルハ機体2Bのブラックボックス信号は途絶。

ポッド042 (ナ)

死亡が確認された。

ポッド042 (ナ)

廃墟都市には、機械生命体が生み出した巨大な「塔」がそびえ立っている。

ポッド042 (ナ)

帰るべき場所を失った9Sは、ただ、ひたすらに「塔」上層部を目指していた。

ポッド042 (ナ)

この悪夢を引き起こした、機械生命体を破壊する為。

ポッド042 (ナ)

そして、自らを終わらせる為。

9S (ナ)

はあっ……はあっ……

◎9S、汚染されて荒い息になっている。

9S (ナ)

ワクチンを、打たないと……

ポッド042 (ナ)

ウィルスに侵蝕されつつある体。

ポッド042 (ナ)

壊れていく、思考。

ポッド042 (ナ)

9Sは、水没都市で見つけた音声記録を脳内で再生させる。

◎2B、ウィルスに汚染されながら、苦しそうに呟く。

2B

9S、君と、一緒に過ごした日は……私にとって……

2B

光のような思い出だった……

2B

ありがとう……ナイン……ズ。

9S

◎それを聞いた、9S、泣きながら。

うっ……うっ……うっ……

ポッド042 (ナ)

その記憶は宝物だった。

ポッド042 (ナ)

共に生きた、戦友でありながら、

ポッド042 (ナ)

まるで、優しい、家族のような。

9
S

2B……

ポッド042 (ナ)

2Bの音声記録を、9Sは、心の奥にしまう。

ポッド042 (ナ)

まるで大事な、宝物かのように。

9
S

2B……今、会いに行くからね……

ポッド042 (ナ)

現実と虚構が混ざり合ってゆく。

ポッド042 (ナ)

混濁した意識のまま、9Sは重い足を前に運ぶ。

ポッド042 (ナ)

一人でも多くの敵を倒す為。

ポッド042 (ナ)

その願いに応ずるかのように、新たな敵が現れる。

9
S

……クッ!!



ポッド042 (ナ)

目の前に舞い降りた複数の敵。

ポッド042 (ナ)

それは、アンドロイド。

ポッド042 (ナ)

それは、ヨルハ機体。

9S

2B……タイプッ!?

ポッド042 (ナ)

彼が、最も大切にしていた人。

ポッド042 (ナ)

彼の、最も触れてはいけない場所。

9S

クッ……クククッ……

9S

ここで会えて、良かった……本当に、良かった。

◎9S、歪んだ笑顔。

9S

一体残らず、粉々に、壊すッ!

ポッド042 (ナ)

9Sは剣を抜く。

もう、その衝動が、殺意なのか、愛情なのかは……
わからなくなっていた。

ポッド042 (ナ)

論理ウイルスによる9Sの汚染は深刻化していた。

ポッド042 (ナ)

記憶の80%近くが汚染され、思考領域にまで被害が及んでいる。

9S

クソッ……ウイルスの除去が……

9S

ワクチンは、もう……効かない……

ポッド042 (ナ)

9Sは知っていた。汚染を取り除くたった一つの方法を。

ポッド042 (ナ)

それは、核になる自我データを閉鎖し、
全ての領域を再フォーマットする事。

ポッド042 (ナ)

今の記憶を捨て、全く新しい自分に生まれ変わ……

◎ポッドのナレーションを遮るように、9Sが喋る。

9S

ダメだっ……ダメだ……

9S

たとえ、どんなに汚染が進んでも……この記憶だけは……

9S

◎9S、苦しみながらも、必死で叫ぶ。

そんな事をするくらいならッ……死んだほうがマシだッ!!!

ポッド042 (ナ)

9Sは恐怖と戦っていた。

ポッド042 (ナ)

自我を汚染される、という事は、自らの考えを奪われるという事。

ポッド042 (ナ)

それは、アンドロイドにとって死よりも恐ろしい事だった。

9S

2Bに会えたから、今の僕があるんだ……

9S

この記憶があるから、生きてる意味があるんだ。

9S

だから、僕から……奪わないでくれ……

ポッド042 (ナ)

彼女の存在は、

ポッド042 (ナ)

家族と呼ぶには、あまりにも乱暴で。

ポッド042 (ナ)

恋人と呼ぶには、あまりにも遠くて。



9 S

機械生命体を……A2を……全部、殺すんだ……

9 S

2 B……僕は……

ポッド042 (ナ)

蝕まれる意識の片隅で、

ポッド042 (ナ)

9 Sは2 Bの記憶を、守り続ける。

ポッド042 (ナ)

たとえ、自らの行為が……世界の全てが無意味だとしても。

2 B

私は……二号……E型。

2 B

仲間であるはずの、ヨル八部隊を処刑する為に作られた。

9 S

気づいていた……そんなことは。

9 S

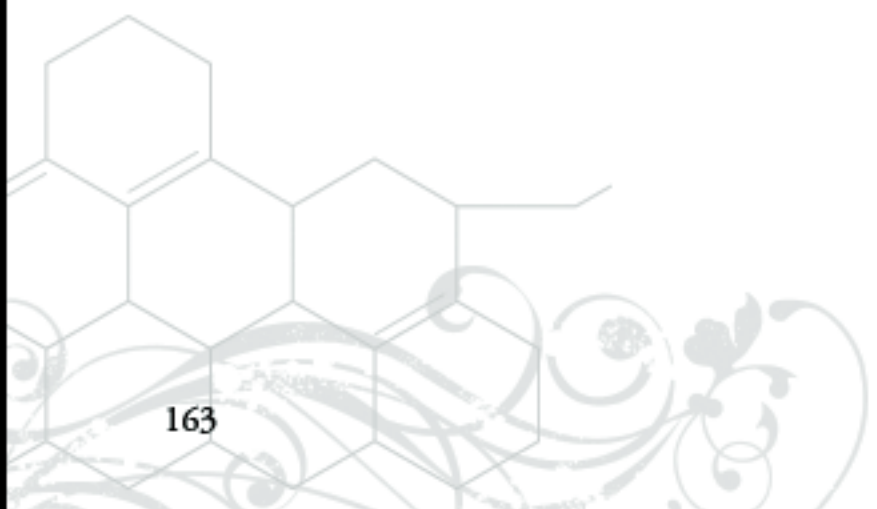
気づいていたんだ。

2 B

繰り返し繰り返し、命ぜられた任務は。

2 B

9 S、貴方を殺す事。



9S

◎9S、泣きながら。

もういい……もう、いいんだ……2B。

9S

君がたとえ僕を殺そうとしていたとしても、僕は……

2B

本当に、君と一緒にいられる事が……

2B

まるで、家族が出来たみたいで……

2B

……ねえ、9S。

2B

私達の選択は、間違っていたのかな……？

ポッド042 (ナ)

真っ白な塔の中。

ポッド042 (ナ)

小さな少年が歩いている。

ポッド042 (ナ)

苦しそうに。不安そうに。

ポッド042 (ナ)

彼は大事そうに、小さな宝物を抱えている。

ポッド042 (ナ)

それは、二人で過ごした思い出。

ポッド042 (ナ)

一番大切だった……あの日の記憶。

(終)